USAMI WALKING MAP

ゆったり湯めまちウォーク

宇佐美コース

石切場コース（ナコウ山・洞入・離山・白波台）
旧街道コース
巣雲山コース
みかんの花咲く丘コース
鎮守の森コース

伊東市健康保養地づくり実行委員会
協力　宇佐美区・宇佐美観光会・まち研 他

昔から人気を集めてきたハイキングコース
巣雲山コース 約5時間00分

のどかなみかん畑のゆったりコース
みかんの花咲く丘コース
峰コース　約3時間00分
阿原田コース　約2時間30分

宇佐美の歴史ある神社をめぐるコース
鎮守の森コース 約3時間00分

伊豆スカイライン沿いにある巣雲山登山口、トイレもあるので利用したい。

生仏の墓

鎌倉での戦いに敗れた平家の落武者の主従が、この地に捕われ、主人は殺され家来は生きたまま埋められたという小さな祠がある。

薄暗い山道が続きます。

巣雲のイス

巣雲の大石

大丸山からの眺望

沢ガニが横切ります。

みかん畑

巣雲山（峰）コース

巣雲山（阿原田）コース

みかんの花咲く丘（峰）コース

みかんの花咲く丘（阿原田）コース

みかん畑とお茶畑が一面に広がっています。

鎮守の森コース

山頂からの富士山

巣雲山は、昔はヒバリがいるような所で、茅場として使われていました。
巣雲山の西にある長者ケ原の富農が稲のモミガラをここにたくさん捨て、それが積もりつもって、山になったと伝えられています。
巣雲山は標高580.5メートルの低い山ですが、山頂からの富士山の眺めは最高です。

炭焼小屋

馬頭観音像

街道の馬頭観音
馬は、昔の宇佐美の人にとっても物質や人の輸送のために大切な生き物だった。馬は人々と苦楽を共にしていたことから、馬が急死した場所などの街道沿いに、（馬頭）観音像をまつったものと思われる。

花岳院

みかんの花

※みかんの花は５月上旬～中旬頃に咲いています。

昭和31年頃の巣雲山遠足

巣雲山は宇佐美っ子のなつかしい遠足コースでした。巣雲山が遠足の目的地になったのは、いつの頃なのかさだかではありませんが、宇佐美っ子の誰もが一度は登ったことのある山が巣雲山です。
遠足のその日、航空用の鉄塔のあった山頂にはいつも歓声がこだまし、子供たちは手作りの芝ソリで、日が暮れるまで山頂で遊んでいました。
（宇佐美中創立50周年記念写真集より）

みかんの花咲く丘

加藤省吾　作詞　　海沼　実　作曲

みかんの花が咲いている
思い出の道　丘の道
はるかに見える　青い海
お船がとおく　霞んでる

黒い煙を　はきながら
お船はどこへ　行くのでしょう
波に揺られて　島のかげ
汽笛がぼうと　鳴りました

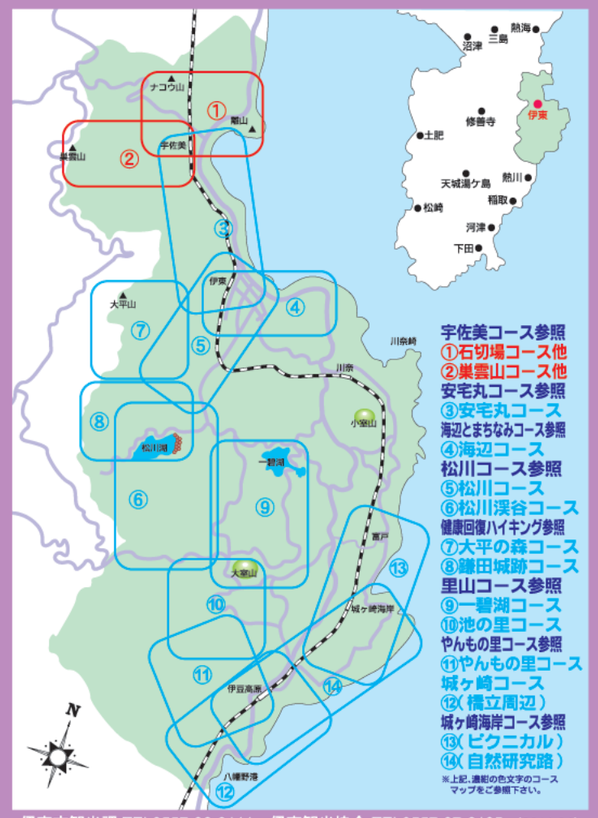
何時か来た丘　母さんと
一緒に眺めた　あの島よ
今日もひとりで　見ていると
やさしい母さん　思われる

終戦直後の昭和21年8月24日に加藤省吾氏により作詞され、翌日『空の劇場』というNHKのラジオの番組で当時人気のあった川田正子さんが伊東からの中継で歌うことになっていました。（その伊東に向かう電車の中で海沼実氏が作曲をしました。）
この歌は全国で愛唱されることになり、それを記念して歌碑が宇佐美に建てられています。

中村敬宇碑
中村敬宇先生は、明治の啓蒙思想家で、スマイルズの「自助論」を翻訳した「西国立志編」は当時のベストセラー。先生の父が宇佐美出身ということで碑が建てられました。揮毫は川端康成。

城山（宇佐美城址）
頼朝２５功臣の一人、宇佐美祐茂公の居城跡と言われている。「宇佐美」姓発生の地である。

ゆったり湯めまちウォークコースエリア



伊東市観光課 TEL0557-36-0111・伊東観光協会 TEL0557-37-6105 （2011.04）